

ワークショップの実施について

1. ワークショップの実施概要

■ワークショップの目的

移動実態調査やアンケートでは把握できない課題や潜在的なニーズの把握、持続可能な公共交通の実現に向けた地域公共交通のあるべき姿(将来像)について市民の意見を聴取する。

■ワークショップの実施概要(案)

対象	立川市内在住の15歳以上の方
開催回数	全10回（5地域×2回で開催/原則2回連続参加）
定員	各回 最大20人程度(申込制)※定員数に満たない場合飛び込み参加あり
開催方式	ワークショップ形式(1グループ6～7人程度／最大3グループ)
募集方法	<p>【周知】</p> <p>立川市HP、広報たちかわ、立川市公式LINE、募集チラシの市施設への設置、関係団体への配布(自治会等)による周知を予定。</p> <p>※その他、市民アンケート調査での事前告知、関係団体からの推薦も検討予定</p> <p>【申込方法】</p> <p>郵送、持参、FAX、メール等での申し込み受付を予定。</p>

2. ワークショップの内容(案)

■ワークショップの内容(案)

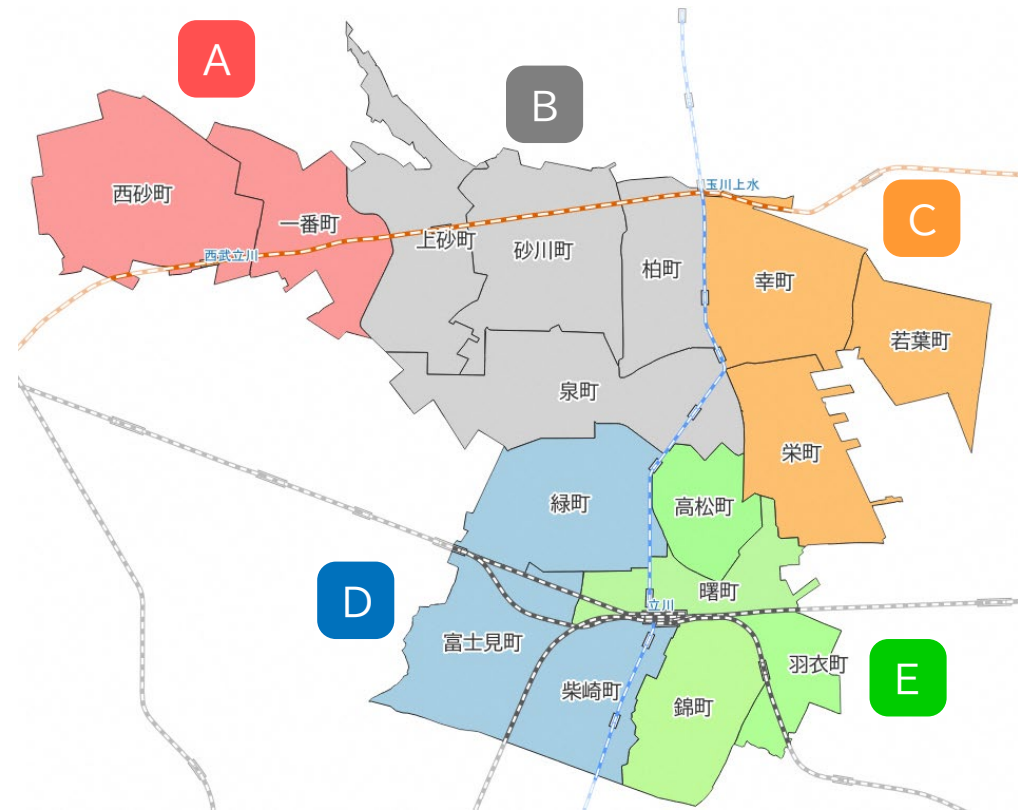
	第1回	第2回
開催時期	令和6年12月～令和7年1月	令和7年2月～3月
テーマ	<u>地域の公共交通について知って考えよう</u>	<u>地域の生活と移動を考えよう</u>
主な内容	<ul style="list-style-type: none">・立川市の公共交通の現状に関する情報提供(運転不足・財源不足の状況等)・地域の公共交通の現状に関する意見交換(課題・要望・利用実態等)・第2回ワークショップでの検討テーマだし	<ul style="list-style-type: none">・第1回ワークショップやアンケート調査の結果などを踏まえ、地域の公共交通のあるべき姿や対策を考える
活用方針	<ul style="list-style-type: none">・アンケートや移動実態調査の分析結果等を踏まえて、生活像として取りまとめる	<ul style="list-style-type: none">・地域公共交通計画における基本的な方針の検討などに活用

3. ワークショップの開催地域(案)

- ワークショップは立川市を5つのエリアに分けて開催を予定。(エリア近隣の人も参加可能)
- エリアは地域間の範囲の大きさや、くるりんバスのルート(支線を含む)を考慮し、下記の5地域で行う。(会場およびスケジュールは第2回協議会后確定)

■ワークショップの開催地域

A	一番町・西砂町
B	上砂町・砂川町・柏町・泉町
C	若葉町・幸町・栄町
D	富士見町・柴崎町・緑町
E	錦町・羽衣町・曙町・高松町



出典:国土数値情報(国土交通省)より作成

4. ワークショップの実施方法(案)

- ・ ワークショップでは6～7人程度の班(最大3班)に分かれ、意見出しを行う。
- ・ 意見をカード(付箋)に記載し、地図に貼っていくことで、意見を地図にまとめる。
- ・ ワークショップの最後には、班ごとに作成した地図について発表を行う。

■カード(付箋)の使い方

【1】意見は1枚につき、ひとつ。
大きな字で簡潔に記入する。

例)
バス停までの道が細く、自動車交通も多く、怖い。

【2】付箋の向きは裏面の「のり」が
上になるようにする。

裏面のり

おもて

【3】カードを読み上げてもらい、進行係が模造紙に貼っていく。
意味の近いカード同士をグルーピングしたり、意見の対象となる地域のあたりに貼りつけるなどしてまとめる。

